

平成25年 業種別死傷災害発生状況（確定）

鹿児島労働局

	平成25年		平成24年		増減数	
	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数
全産業	1750	12	1701	17	49	-5
1 製造業	356	1	357	3	-1	-2
1 食料品製造業	214		222		-8	0
4 木材・木製品製造業	20		25		-5	0
9 窯業土石製品製造業	22		24	2	-2	-2
11～12 金属製品製造業	12		15		-3	0
13～15 機械機具製造業	24		20		4	0
上記以外の製造業	64	1	51	1	13	0
2 鉱業	5		4		1	0
3 建設業	309	5	267	5	42	0
1 土木工事業	116	3	118	3	-2	0
2 建築工事業	158	2	131	2	27	0
3 その他の建設業	35		18		17	0
4 運輸交通業	213		188	2	25	-2
1 鉄道・航空機業	7		2		5	0
2 道路旅客運送業	17		17		0	0
3 道路貨物運送業	188		168	2	20	-2
4 その他の運輸交通業	1		1		0	0
5 貨物取扱業	9		16	1	-7	-1
1 陸上貨物取扱業	1		3		-2	0
2 港湾運送業	8		13	1	-5	-1
6 農業	96	3	94	4	2	-1
1 農業	43		39	1	4	-1
2 林業	53	3	55	3	-2	0
7 畜産・水産業	97	1	98		-1	1
8 商業	232		205		27	0
1 卸売業	42		35		7	0
2 小売業	167		147		20	0
3 理美容業			1		-1	0
4 その他の商業	23		22		1	0
9 金融・広告業	24		24		0	0
11 通信業	15		14		1	0
12 教育・研究業	14		14		0	0
13 保健衛生業	172		199		-27	0
1 医療保健業	64		68		-4	0
2 社会福祉施設	105		128		-23	0
3 その他の保健衛生業	3		3		0	0
14 接客娯楽業	120	1	123		-3	1
1 旅館業	30	1	32		-2	1
2 飲食店	59		49		10	0
3 その他の接客娯楽業	31		42		-11	0
上記以外の事業	88	1	98	2	-10	-1
10 映画・演劇業	1		1		0	0
15 清掃・と畜業	40		46	2	-6	-2
16 官公署	1		4		-3	0
17 その他の事業	46	1	47		-1	1
陸上貨物運送事業（4-3・5-1）	189	0	171	2	18	-2
第三次産業（8～17）	665	2	677	2	-12	0

- ① 死傷者数は、労働者死傷病報告のうち休業見込み日数が4日以上災害によるもので、死亡者を含みます。
 ② 陸上貨物運送事業及び第三次産業は、別計。
 ③ H24年も確定値。

平成25年 業種別死傷災害発生状況(確定)

鹿児島労働局

業種	年	平成 25 年		平成 24 年		増 減 数	
		死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数
全 産 業		1,750	12	1,701	17	49	-5
鉱山保安法適用を除く		1,750	12	1,701	17	49	-5
製 造 業		356	1	357	3	-1	-2
食 料 品		214		222		-8	
木 材 ・ 木 製 品		20		25		-5	
窯 業 ・ 土 石 製 品		22		24	2	-2	-2
金 属 製 品		12		15		-3	
機 械 器 具		24		20		4	
上 記 以 外 の 製 造 業		64	1	51	1	13	
鉱 業		5		4		1	
鉱山保安法適用事業							
土 石 採 取 業		5		1		4	
建 設 業		309	5	267	5	42	
土 木 工 事 業		116	3	118	3	-2	
建 築 工 事 業		158	2	131	2	27	
そ の 他 の 建 設 業		35		18		17	
運 輸 交 通 業		213		188	2	25	-2
貨 物 取 扱 業		9		16	1	-7	-1
林 業		53	3	55	3	-2	
上 記 以 外 の 事 業		805	3	814	3	-9	
商 業		232		205		27	
保 健 衛 生 業		172		199		-27	
接 客 娯 楽 業		120	1	123		-3	1
清 掃 ・ と 畜 業		40		46	2	-6	-2
上 記 以 外 の 事 業		241	2	241	1		1

① 死傷者数は、労働者死傷病報告のうち休業見込み日数が4日以上災害によるもので、死亡者を含みます。

② H24年も確定値。

平成25年 死亡災害事例

鹿児島労働局

番号	発生年月	業種	被災時の職種	性別	年齢	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
1	平成25年 1月	木材伐出業	伐木・造林作業	男	63	飛来・落下	立木等	間伐作業に取り掛かるにあたり、作業道路(林道取り付け道路)建設のための伐採作業を行っていた被災者が集合場所に現れないので同僚が捜したところ、被災者が伐倒された杉(高さ18m 胸高径34cm)の下敷きになっていた。
2	平成25年 1月	旅館業	調理師	男	58	その他	その他	被災労働者は調理師として勤務していたが、勤務中にトイレへ行ったが、30分位経っても戻らなかったことから、同僚が様子を見に行ったところ、いびきをかき前屈みで倒れていたもの。病院へ救急搬送されたが、意識が戻らないまま、脳内出血により死亡した。
3	平成25年 4月	その他の水産業	作業	男	29	おぼれ	水	養殖魚の入った生けすの係留ロープの補修をするため、岸壁を歩いていたところ、高波にさらわれ、海中に投げ出されたもの。
4	平成25年 4月	土木工事業	作業	男	62	崩壊・倒壊	地山	産業残土等の土捨て場において、労働者ら3名が、沈砂池へ水を流す排水管(1本:長さ5m×径0.8mの塩化ビニール管)を埋設し連結する作業を行っていたところ、隣接する盛土が崩壊し、2名(労働者1名、会社役員1名)が生き埋めとなり死亡したもの。

番号	発生年月	業種	被災時の職種	性別	年齢	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
5	平成25年 8月	土木工事業	作業員	男	28	飛来・落下	立木等	林道整備工事において、支障木となる杉を伐倒した後、被災者がチェーンソーを用いて伐倒した杉(全長約18m、根元付近の直径42cm)の玉切り作業をしていたところ、玉切りしていた木(元口側)が跳ね、被災労働者の左頬付近に当たったもの。
6	平成25年 10月	土木工事業	作業員	男	63	交通事故(道路)	トラック	水道管敷設工事に伴う水圧試験用の水(50リットル)を現場に運ぶため、水を入れたタンクを軽トラックで運搬中、反対車線の電柱に激突したものの。
7	平成25年 10月	建築工事業	作業員	男	26	墜落、転落	屋根	高さ約10メートルの倉庫の屋根(スレート葺)上で、屋根に設けられている採光箇所(半透明の波板)の葺き替え作業をしていたところ、その波板を踏み抜き、墜落したものの。
8	平成25年 10月	木材伐出業	伐木・造林作業員	男	58	崩壊・倒壊	立木等	伐木作業中、最初に伐倒したヒノキがかかり木状態となったものの、かかり木処理をせず、かかっている木の隣に立つ別のヒノキを伐倒したところ、その拍子にかかり木状態が解消され、かかっていた木が被災者の上に倒れてきたもの。

番号	発生年月	業種	被災時の職種	性別	年齢	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
9	平成25年 11 月	建築工事業	作業員	男	59	墜落、転落	足場	2階建ての木造家屋新築工事現場において、ブ ラケット足場の一段目(高さ約1.5メートル)の作 業床に乗り、1階部分の外壁に防湿シートを張る 作業を行っていたところ、その作業床から墜落し たもの。
10	平成25年 11 月	その他の事業	作業員	男	46	交通事故(道路)	乗用車	路側帯沿いの除草作業をしていたところ、車線を 逸脱し、路側帯に侵入してきた軽トラックに轢か れたもの。
11	平成25年 12 月	木材伐出業	伐木・造林作業員	男	62	激突され	立木等	椎の木の伐木作業中、労働者Aはチェーンソー作業を、 労働者Bは椎の木をワイヤロープで引っ張る林業機 械の操作を、被災労働者Cは労働者Aの傍らで椎の 木に追い口が入れられるまで合図を送っていた。労 働者Aが椎の木に追い口を入れ、労働者Bが林業機 械でワイヤロープを引いて椎の木を倒そうとしたと ころ、伐倒方向にいた被災労働者Cが伐倒した椎の 木の下敷きになったもの。
12	平成25年 12 月	自動車整備業	営業	男	58	交通事故(道路)	乗用車	被災労働者が軽乗用車を運転し、集金先から事 業場に戻る途中、鹿屋市串良町の市道交差点 で、普通乗用車と出会い頭に衝突し、被災労働 者が死亡したもの。

平成25年 重大災害事例(交通事故を含む)

鹿児島労働局

番号	発生年月	業種	被災時の職種	性別	年齢	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)	死亡	負傷
1	平成25年2月	食料品製造業	作業員	男	33	有害物等との接触	有害物	加工場において、カツオのタタキを製造するための焼き室に設置している炭焼き機の排気装置の故障により、焼き室内に充満した煙が隣接する2室に流れ込み、2室内で作業していた5名の労働者が体調不良を訴えて病院を受診し、急性一酸化炭素中毒と診断されたもの。	0人	5人
			作業員	女	38					
			作業員	女	61					
			作業員	女	61					
			作業員	男	47					
2	平成25年4月	商業	営業	男	33	交通事故	乗物	九州自動車道(下り車線)を社用車で走行中、運転操作を誤り横転したもの。	0人	3人
			営業	男	33					
			営業	男	35					
3	平成25年6月	建設業	土工	男	70	交通事故	乗物	県道の整備工事現場にて、路側帯に側溝を新設するため、カラーコーンで区画された路側帯の内側で労働者3名が新設した側溝に蓋板を敷設する作業を行っていたところ、一般の通行車両が作業箇所内に突っ込んできたもの。	0人	3人
			土工	女	65					
			土工	男	30					
4	平成25年6月	建設業	電気工	男	69	墜落	用具	内外装工事現場の店内で、高さ約2mと約3mの脚立3台を使用し、3名の作業員で天井に設置された照明器具(重さ約40Kg)を外そうとしたところ、照明器具が落下し、照明器具を支えていた3名が脚立から墜落したもの。	0人	3人
			電気工	男	49					
			電気工	男	57					

※ 重大災害とは、一時に3人以上の死傷者を伴う災害である。